



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月31日

上場会社名 株式会社メイテックグループホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 9744 URL <https://www.meitecgroup-holdings.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 正人  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・財務・経営管理担当 (氏名) 山下 徹 TEL 050-3033-0945  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年11月29日  
決算補足説明資料作成の有無： 有  
決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	65,837	5.3	9,020	4.6	9,048	4.9	5,538	△3.7
2024年3月期中間期	62,553	7.8	8,620	13.7	8,625	13.0	5,750	12.6

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 5,546百万円 (△4.6%) 2024年3月期中間期 5,811百万円 (12.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	71.73	—
2024年3月期中間期	73.33	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	87,964	47,838	54.4
2024年3月期	90,761	47,696	52.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 47,838百万円 2024年3月期 47,696百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	44.00	—	70.00	114.00
2025年3月期	—	88.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	97.00	185.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

2025年3月期配当金の内訳 普通配当 155円00銭 記念配当 30円00銭（創業50周年記念配当）

配当予想の修正につきましては、添付資料2ページ「(4) 配当予想の修正（期末配当）」をご参照ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	133,300	5.0	18,200	3.1	18,300	3.6	11,900	△3.6	154.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有  
 連結業績予想の修正につきましては、添付資料2ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更： 無  
 新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	78,000,000株	2024年3月期	78,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	792,605株	2024年3月期	792,507株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	77,207,467株	2024年3月期中間期	78,421,484株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
(4) 配当予想の修正(期末配当) .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	4
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	5

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(6ヶ月間:2024年4月1日~2024年9月30日)においては、緩やかな景気回復が続く一方で、緊迫した国際情勢、資源価格等の上昇なども続いており、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループの連結売上高9割超を占めるエンジニアリングソリューション事業を担うメイテック(MT)、メイテックフィルダーズ(MF)では、主要顧客である大手製造業各社が、次代を見据えた技術開発投資を進められたことから、受注は堅調に推移しました。中長期の成長を見据え、厳しい採用環境の中、品質を堅持した積極採用を継続した結果、2024年9月末のエンジニア社員数(MT・MFの合計)は、12,512名(前年9月末比▲11名、▲0.08%)と、概ね前年同期並みとなりました。このような状況下、受注に応え、新入社員および既存社員の配属を促進した結果、稼働人員数の増加と稼働率の向上を両立しました。また、時間外労働の増加等により、稼働時間は前年同期比で若干増加しました。

その結果、連結売上高は、前年同期比32億84百万円(5.3%)増収の658億37百万円となりました。連結売上原価は、エンジニア社員の増員に伴う労務費増加等により、前年同期比25億38百万円(5.6%)増加の482億10百万円、連結販売費及び一般管理費は、前年同期比3億46百万円(4.2%)増加の86億6百万円となり、その結果、連結営業利益は、前年同期比3億99百万円(4.6%)増益の90億20百万円、連結経常利益は、前年同期比4億22百万円(4.9%)増益の90億48百万円となりました。

また、当社所有の大型研修施設の利用停止決定に伴い、6億20百万円の減損損失を計上したため、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比2億12百万円(3.7%)減益の55億38百万円となりました。

詳細につきましては、TDnetおよび弊社ウェブサイトで本日公表している「2025年3月期第2四半期決算説明資料」を参照下さい。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末(2024年9月30日)の資産合計は、前連結会計年度末(2024年3月31日)比で27億96百万円減少し、879億64百万円となりました。これは、現金及び預金の減少に伴い流動資産が前連結会計年度末比で26億38百万円減少した事が要因です。なお、現金及び預金の減少は、賞与支給や未払法人税等の納付、前連結会計年度の期末配当支払などが主因です。

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比で29億38百万円減少し、401億26百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で31億9百万円減少した事が要因です。なお、流動負債の減少は、流動負債その他に含まれている未払消費税等の減少などが主因です。

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比で1億41百万円増加し、478億38百万円となりました。これは、当期の経営成績の結果による親会社株主に帰属する中間純利益の獲得に、配当金の支払の影響が相殺された事などが主因です。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足元の動向を踏まえ、エンジニアリングソリューション事業における主要指標を修正し、2024年5月9日に公表した連結業績予想を修正いたしました。

なお、現時点の業績予想の詳細につきましては、TDnetおよび弊社ウェブサイトで本日公表している「2025年3月期第2四半期決算説明資料」を参照下さい。

### (4) 配当予想の修正(期末配当)

2025年3月期連結業績予想の修正を踏まえ、利益配分の基本方針に即して2025年3月期の期末配当予想を修正しました。

なお、詳細につきましては、TDnetおよび弊社ウェブサイトで本日公表している「2025年3月期第2四半期決算説明資料」を参照下さい。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,744	50,561
受取手形及び売掛金	18,215	18,100
仕掛品	174	267
未収消費税等	2,432	1,325
その他	1,203	1,879
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	74,767	72,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,005	2,664
その他(純額)	1,650	1,518
有形固定資産合計	4,656	4,183
無形固定資産		
その他	403	356
無形固定資産合計	403	356
投資その他の資産		
繰延税金資産	9,356	9,350
その他	1,592	1,965
貸倒引当金	△15	△19
投資その他の資産合計	10,933	11,296
固定資産合計	15,993	15,835
資産合計	90,761	87,964
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	3,674	3,181
役員賞与引当金	131	75
賞与引当金	10,612	10,682
その他	11,373	8,741
流動負債合計	25,791	22,681
固定負債		
退職給付に係る負債	17,273	17,445
固定負債合計	17,273	17,445
負債合計	43,064	40,126
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	1,259	1,259
利益剰余金	43,554	43,534
自己株式	△1,691	△1,691
株主資本合計	48,122	48,101
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△662	△508
退職給付に係る調整累計額	236	245
その他の包括利益累計額合計	△425	△263
純資産合計	47,696	47,838
負債純資産合計	90,761	87,964

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## (中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	62,553	65,837
売上原価	45,672	48,210
売上総利益	16,880	17,626
販売費及び一般管理費	8,259	8,606
営業利益	8,620	9,020
営業外収益		
受取利息	0	5
助成金収入	16	15
還付加算金	—	7
その他	6	8
営業外収益合計	24	36
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	—	4
貸倒損失	0	2
コミットメントフィー	1	1
その他	18	1
営業外費用合計	19	9
経常利益	8,625	9,048
特別損失		
固定資産除却損	1	0
減損損失	3	620
特別損失合計	5	621
税金等調整前中間純利益	8,619	8,426
法人税等	2,868	2,888
中間純利益	5,750	5,538
親会社株主に帰属する中間純利益	5,750	5,538

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	5,750	5,538
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	60	8
その他の包括利益合計	60	8
中間包括利益	5,811	5,546
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,811	5,546

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。